

推進協議会設立趣意書（素案）

平成29年と平成30年は、日本の転換点となった大政奉還と明治維新から150周年に当たり、日本全体として大変意義深い記念すべき年である。

本県は、幕末から明治維新にかけて、京や江戸から遠く離れた土佐の地にあって、「幕末四賢侯」の一人といわれる山内容堂をはじめ、坂本龍馬や武市半平太、中岡慎太郎、吉村虎太郎、ジョン万次郎、岩崎弥太郎、後藤象二郎、板垣退助、片岡健吉、植木枝盛などの偉人を輩出し、当時の日本をリードしてきた。

本県にとっても、こうした歴史的背景から、来年からの2か年は、かかわり深い節目の年であると言える。

こうした記念すべき年に多くの観光客に本県に訪れていただくことは、土佐から志を持った多くの若者が生まれた風土や、彼らを育んだ時代につながる土佐の食、人情、自然、文化を全国に知っていただく絶好の機会となる。

あわせて、現代の激動の時代において、当時、地方にありながらも志を抱き、世界を視野に行動した人々に思いを馳せ、未来を切り拓いていこうとする心を育むきっかけにもなると考えられる。

このため、150周年に向けての全国的な盛り上がりをつくり出すとともに、県内においては地域地域の一連の歴史資源をさらに魅力あるものに磨き上げ、地域地域の特色ある食、自然などと周遊コースとして一体的に整備して、多くの誘客を図り、持続可能な観光振興につなげていくことが必要である。

こうした様々な取り組みを官民一体となって積極的に展開していくための推進組織として「〇〇推進協議会」を設立する。

平成28年5月 日